

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物化学調節学会 第51回大会（高知大学物部キャンパス）
演題名	LMD法を用いたシロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程における時空間的遺伝子発現解析
発表者	中野渡 幸※、小倉 健太郎※、伴瀬 真麻※、山田 一貴※、佐藤 忍、○ <u>朝比奈 雅志</u> (植物生理学研究室)
内容	本研究では、シロイヌナズナ切断花茎の癒合過程における時空間的な遺伝子発現調節機構の解明を目的に、レーザーマイクロダイセクション（LMD）法を用いて、より限られた組織・細胞レベルでの遺伝子発現解析、及び植物ホルモンの内生量の測定を行った。凍結切片作成後、LMD法を用いて回収した切片からRNAを抽出し、リアルタイムPCRで遺伝子発現を調査した。また、同様に採取した組織からLC-MS/MSを用いた植物ホルモンの一斉分析を行った。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受け、本研究室の卒研生、大学院生が中心となって行われた。
関連画像	 <p>ポスター発表の様子</p>